



## クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2023年3月14日

### メキシコ太陽光事業者支援ファンド1号

#### 償還時運用報告

(第二種金融商品取引業協会「事業型ファンドの私募の取扱い等に関する規則」に基づくファンド報告書)

平素は格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。

標記ファンドの償還につきまして、以下のとおりご報告させていただきます。

出資金総額	: JPY 60,360,000.-
うち投資総金額	: JPY 57,945,600.-
うち運用手数料	: JPY 2,414,400.-

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日	: 2018年10月19日
グループ会社貸付金額	: MXN 9,990,445.00
適用直物 MXNJPY レート	: 5.8001
適用先物 MXNJPY レート	: なし
グループ会社貸付期間(当初予定)	: 2018年10月19日から2020年10月25日
資金運用日数(当初予定)	: 737日
グループ会社貸付金利(年利)	: 14.9%

===運用終了時の状況===

グループ会社貸付期間	: 2018年10月19日から2023年2月25日
資金運用日数	: 1,590日
予定グループ会社返済利息額(累計)	: MXN 3,005,700.69
実現グループ会社返済利息額(累計)	: MXN 0.00
実現元利金返済額(累計)	: MXN 6,862,317.51
実現平均 MXNJPY レート 1	: 5.4575
実現 MXNJPY レート(償還月) 2	: 7.2813
出資者返済原資(累計)	: MXN 6,862,317.51
円貨換算出資者返済原資(累計)	: JPY 37,450,883.-
ファンドの実現投資倍率(税引き前)	: 0.620倍

募集時投資倍率（税引き前）： 1.245 倍  
 募集時表面利回り（税引き前）： 11.4%（期間：2018年10月19日～2020年10月31日）

===分配金および償還金の概況===

分配金および償還金の有無： あり  
 分配金および償還金の金額： 37,450,883 円  
   うち運用利益（▲運用損失）： ▲22,909,117 円  
 出資金1万円当たりの分配金および償還金の金額： 6,205 円(実際の分配額は、端数処理の関係で左記の金額に出資金の額(1万円単位)を乗じた金額と差異が生じる場合がございます)

出資対象事業の概況

本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下、「本営業者」といいます）は、Crowdcredit Estonia OÜ（以下、「本営業者グループ会社」といいます）にメキシコペソ建てで貸付けを行い、本営業者エストニアグループ会社はこの貸付金を原資に、(案件①)メキシコ合衆国にて商業施設及び住宅向け太陽光発電システムの販売設置を行うQ社（以下、「Q社」といいます）に対して貸付けを行うとともに、(案件②) Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介して、ジョージア（旧グルジア共和国）の会社 Creamfinance Georgia LLC の取り扱う個人向けローン債権の購入を行いました。

**【これまでの運用状況と償還経緯の要旨】**

- Q社は、メキシコの太陽光発電事業の競争激化等に直面して収益力が低下し、経営状況の悪化によって大幅な事業縮小を余儀なくされました。
- 本営業者は契約期間を延長し、本営業者グループ会社は当初満期の2020年11月以降も回収活動を継続しました。一方でQ社の経営状況は悪化の一途をたどり、2021年12月を最後に部分返済も履行できない状態が続きました。
- 本営業者グループ会社は、Q社の現預金が枯渇する前に、Q社の現預金から税金支払いのための費用等を除く15,000米ドルを回収して残る債権を放棄しました。本営業者はこの回収額を原資として本ファンドの出資金を返還するとともに償還いたします。

本ファンドシリーズのこれまでの状況

時期	出来事
2020年10月～同年11月	本営業者グループ会社はQ社から、短期間での資金回収を前提とした太陽光発電システムの割賦販売が伸び悩んだことや、予定していた資金調達破談になったことなどで、本ファンドシリーズに関する返済を約定通りに実施できないとの連絡を受けました。

時期	出来事
	本営業者はその状況を踏まえて本件匿名組合契約の当初満期だった 2020 年 10 月(1号ファンド)および 2020 年 11 月(2号ファンド)を延長しました。
2020 年 10 月 ～2021 年 12 月	本営業者グループ会社は Q 社と協議しつつ、2020 年 10 月、2021 年 6 月、2021 年 7 月、2021 年 12 月に、部分的ながら債権の回収を行いました。 その間、Q 社は事業収益に加えて米国を拠点とする再生可能エネルギー投資ファンド(以下「スポンサー」といいます)からの借入を主な返済原資としました。
2022 年 1 月 ～2022 年 12 月	Q 社の経営状況の悪化が継続し、本営業者グループ会社による債権回収が困難となりました。本営業者グループ会社は Q 社に対して、資金確保のための太陽光パネルおよびそれに紐づく貸付債権の売却、ならびに外部からの資金調達を促しましたがいずれも実現しませんでした。また、本営業者グループ会社は上記スポンサーに対して Q 社向け債権の(スポンサーによる)買取りを打診したものの、こちらも実現しませんでした。 その間、Q 社は事業継続のために人員削減を軸としたリストラクチャリングに着手し、一時期には 30 人弱いた従業員を約 10 人に絞る等、大幅に事業を縮小しました。
2023 年 1 月～ 同年 2 月 (当月期)	本営業者グループ会社は、Q 社が実質的な経営破綻状態にあること、さらなる事業縮小を経ても資金流出が続くこと、およびその再建可能性が皆無なことを踏まえて、Q 社が事業閉鎖等に陥る前に可能な限り資金を回収することを決めました。  2023 年 2 月、本営業者グループ会社は、Q 社に残る現預金のうち税金支払いのための費用等を除いた 15,000 米ドルを回収しました。とともに、その後に残る Q 社向け債権を回収不能と判断して債権放棄を行いました。 本営業者は、その回収額全額に加えて、本営業者グループ会社がファンド費用支払いに備えて積立てた留保金等 3,524.06 米ドルを回収しました。

## 2023 年 2 月期における分配および償還について

<今回の部分返済および債権放棄の背景>

Q 社の経営状況の悪化が継続するなか、本営業者グループ会社は本ファンドに関する債権の全額回収を引続き模索するよりも、債権放棄を伴ってでも一部資金の回収を優先するのが望ましいものと判断しました。そして Q 社との交渉および Q 社の現状を勘案して、Q 社に残る現預金のうち 15,000 米ドルを回収し、残る債権を回収不能と判断して債権放棄を行いました。

<2023 年 2 月時点での Q 社の現状>

- ・ 従業員数が 2022 年の約 10 人からさらに 3 人まで減少し、事業縮小がほぼ限界を迎えました
- ・ 事業縮小を経ても資金流出が継続しています

- ・自由に使用できる現預金が約 17,800 米ドルしかなく、事業継続性に著しい懸念があります
- ・これまで数々の策を試みた経緯も踏まえて、事業再建の可能性は皆無だと考えられます

<本ファンドの分配および償還につきまして>

2023 年 2 月、本営業者グループ会社は Q 社より 15,000 米ドルを回収しました。本営業者は、その 15,000 米ドルに加えて本営業者グループ会社がファンド費用支払いに備えて積立てた留保金等 3,524.06 米ドルをあわせて 18,524.06 米ドルを回収し、それを分配原資として、本ファンドシリーズの各号へ按分して出資金を返還します。その返還をもって本営業者は本ファンド財産の分配をすべて完了し、本ファンドを償還いたします。

本ファンドの出資金は、金融商品取引業等に関する内閣府令第 125 条その他の法令に定める基準に則り、ファンドの種類別・号数別に銀行に開設する預金口座へ預金する方法によって、ファンドの営業者たる当社の固有財産その他当社の行う他の事業に係る財産とは分別して管理を行いました。

今後とも当社の事業にご理解とご支援を賜れますと幸いです。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016 年 3 月

【資本金】 1,000,000 円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号